

## 令和5年度 小施策評価シート【概要】

作成日	令和5年4月28日	作成課	公園街路課	作成者	中野 衛
小施策	04	03	02	公園の整備と維持管理	

### 1. 小施策の位置づけ<Plan>

都市将来像	未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市						
政策	04	都市と自然が共生した安全で安心なまちづくり					
大施策	03	幹線道路の整備と公園の管理					
めざそう値	駅周辺などの中心市街地と周辺住宅地を結ぶ幹線道路の整備による交通渋滞の緩和や、道路交通の安全確保の取り組みが進められているほか、公園の再整備や維持管理により、緑とゆとりのある都市空間が生まれている。						
	設定時	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	3.1	3.33	3.09	3.1	3.09	3.18	
現状と課題	新しい都市構造を形成する骨格として、また、周辺地区からのアクセス強化としてさまざまな幹線道路の整備が進められています。今後は、新たな人の流れを生み出す都市計画街路事業のさらなる推進が求められています。 また、公園においては、公園施設の計画的な更新が行われており、近年では、公園施設の維持管理の取り組みの広がりやニーズの多様化が進んでいます。						
大施策の基本目標	市内外の移動の骨格となる広域幹線道路と、中心市街地と周辺住宅地を結ぶ幹線道路の整備を推進するとともに、交通渋滞の緩和、道路交通の安全確保に取り組みます。 また、市民が利用しやすい公園の整備と維持管理を進め、憩いの空間や良好な都市景観の形成を図ります。						
小施策	02	公園の整備と維持管理					
小施策の基本目標	多様化する公園のニーズに対応しながら、計画的な補修や更新などを進めるとともに、安全で安心な利用しやすい公園整備を進めます。						

### 2-1. 小施策を構成する事務事業<Do> (詳細は、別添資料を参照)

事業1	公園施設の長寿命化計画による改修事業	事業21	
事業2	公園施設等利用促進事業	事業22	
事業3	公園整備事務事業	事業23	
事業4	いこいの森管理運営事業	事業24	
事業5	いこいの森改修事業	事業25	
事業6	公園施設維持管理事業	事業26	
事業7	公園灯LED化事業	事業27	
事業8	花いっぱい運動事業	事業28	
事業9	みどりの広場事業	事業29	
事業10		事業30	
事業11		事業31	
事業12		事業32	
事業13		事業33	
事業14		事業34	
事業15		事業35	
事業16		事業36	
事業17		事業37	
事業18		事業38	
事業19		事業39	
事業20		事業40	

### 2-2. 小施策に投入する業務量と事業費<Do>

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度計画	
人	業務量(正規)	2,293時間	4,343時間	
	業務量(会計)	2,137時間	3,061時間	
	業務量合計	4,430時間	7,404時間	
カネ	事業費	210,111千円	178,628千円	251,669千円

一般財源	180,111千円	166,128千円	169,169千円
特定財源	30,000千円	12,500千円	82,500千円

### 3. 小施策における客観的成果(主な指標)<Check>

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:達成値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
「公園施設長寿命化計画」に基づく、公園施設の事業進捗率	%	100	20	40	60	80	100
			5	40	60	68	
成果の達成原因・未達成の原因と達成に向けた改善点等	令和元年度は事業費を令和2年度に繰り越したことから目標未達成。 同様に、令和4年度も事業費を令和5年度に繰り越したことから目標未達成。 ※目標値は事業費ベース						
主な関連事務事業							

### 4. 小施策の展開<Action>

過去の施策マネジメント診断結果(小施策への診断)	診断実施年度: 2020(R2) 公園に関しては、新規の施設整備から既存施設の維持・活用に重点を置く方針である。公園の維持管理は直営で実施している(ただし、小規模公園の草刈等は地元)ため、年3回の点検に係る業務量が多い。今後は、公園の適正配置だけでなく、維持管理の方法も公共施設全体の維持管理を包括委託するなど、より効率的・効果的な維持管理をしていく必要がある。<外部委託化・権限委譲等>	
小施策の達成状況(所管課による自己評価)	小施策の目標は	C まあまあ達成している
小施策の目標達成に向けた課題(達成に向けた必要なこと)	大型遊具の更新を進めているいこいの森中央公園の来場者が増加している一方、現在進めている公園等利用促進事業にて実施した利用実態調査の結果、街区公園の約半数が利用者が少ない等の理由から改善が必要との結果となった。今後、利用者が少ない公園の利活用方法、また、廃止や統合を含めて検討する必要がある。	
小施策の目標達成に向けた取組の方向性(上記課題を解決するために実施すること)	令和5年度に予定している公園等利用促進基本計画の策定にあたっては、利用者が少ない等で改善が必要となった公園に特色を持たせて活用を促進するための方法や公園の統廃合についても検討を進めたい。	

(空白)

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、業務量)		小施策			公園の整備と維持管理			作成課	公園街路課	
事業 番号	事務事業名	上段:総事業費(単位:千円) 下段:特定財源(単位:千円)			事業費、特定財源に関するコメント (主な増減理由等)	上段:【正規】業務量(単位:時間) 下段:【会計】業務量(単位:時間)			業務量に関するコメント (主な作業、増減理由等)	備考
		R3年度決算	R4年度見込	R5年度予算		R3年度実績	R4年度実績	R5年度計画		
計		210,111千円 30,000千円	178,628千円 12,500千円	251,669千円 82,500千円		/	2,293時間 2,137時間	4,343時間 3,061時間		
1	公園施設の長寿命化計画による改修事業	30,000千円 30,000千円	12,500千円 12,500千円	82,500千円 82,500千円	R4~7年の4カ年で計画していた、いこいの森中央公園の大型遊具更新をR5年度に行うことになったため、R4年度から17,500千円を繰越し、またR6およびR7に予定していた分の計35,000千円を前倒したことにより、元々予定していた令和5年度予算30,000千円から、合計52,500千円増えたもの。	/	551時間 106時間	600時間 58時間		
2	公園施設等利用促進事業	16,918千円 0千円	0千円 0千円	0千円 0千円		/	240時間 12時間	611時間 0時間		
3	公園整備事務事業	116千円 0千円	197千円 0千円	325千円 0千円		/	0時間 0時間	0時間 0時間		
4	いこいの森管理運営事業	28,668千円 0千円	28,312千円 0千円	28,330千円 0千円		/	344時間 0時間	856時間 32時間		
5	いこいの森改修事業	2,530千円 0千円	3,250千円 0千円	3,250千円 0千円		/	45時間 0時間	84時間 0時間		
6	公園施設維持管理事業	123,423千円 0千円	123,295千円 0千円	126,205千円 0千円		/	654時間 1,637時間	1,666時間 2,337時間		
7	公園灯LED化事業	3,524千円 0千円	3,524千円 0千円	3,524千円 0千円		/	0時間 0時間	0時間 0時間		
8	花いっぱい運動事業	4,932千円 0千円	4,950千円 0千円	4,935千円 0千円		/	62時間 335時間	89時間 572時間		
9	みどりの広場事業	0千円 0千円	2,600千円 0千円	2,600千円 0千円		/	397時間 47時間	437時間 62時間		

(空白)

別紙2_小施策構成事務事業各概要		小施策名		公園の整備と維持管理												
事業番号	事務事業名	事業区分	根拠法令・要綱等	事業の性質	市の実施義務	目的【何のためにこの事務事業を実施するのか】	直接対象【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模(人数等)	手段【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果【左記の手段をとることで、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	実施形態【外部委託の状況、補助・助成の状況】		筑紫地区等近隣自治体との比較	本市の水準、順位等	小施策への貢献度【左の成果をあげることにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度
											直営	一部委託				
1	公園施設の長寿命化計画による改修事業	実施計画事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	耐用年数を越え老朽化した公園施設が急激に増加する中で、安全で快適な利用という機能を確保しながら公園の既存ストックを適正に維持管理するため。	都市公園・広場(150箇所)、いこいの森公園	101,134人	平成28年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設に必要な改修または更新を行う。	安全で快適に公園を利用することができる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	安全で安心して公園を利用することができる。	高(3点)
2	公園等利用促進事業	実施計画事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	利用者の少ない公園をにぎわいのある公園にするともに、地域住民の維持管理意識の向上を図る。	都市公園・広場(149箇所)から抽出	101,134人	公園等利活用基本計画を策定し、計画に基づいて公園の利活用ならびに新たな活用、統廃合を実施する。	にぎわいのある公園を整備するとともに、地元主体の維持管理意識の向上につなげる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	憩いの空間や良好な都市景観の形成を図ることができる。	高(3点)
3	公園整備事務事業	経常事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	安全で快適に公園を利用してもらうため。	公園・広場・緑地等	101,134人	研修会等に参加することで、公園の整備と維持管理に必要なスキルを習得する。	安全で快適に公園を利用することができる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	安全で安心して公園を利用することができる。	低(1点)
4	いこいの森管理運営事業	経常事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	いこいの森施設を安全で快適に利用してもらうため。	大野城いこいの森公園 対象規模は福岡都市圏人口	2,520,000人	清掃・塵芥回収・除草、樹木管理、芝管理、施設の施設管理および安全点検等、維持管理のための工事および修繕に指定管理者制度を利用する。	いこいの森が安全・快適に利用できる施設となることで、利用者の増加につながる。	一部委託	いこいの森の管理運営は指定管理者が行っている。	同程度	憩いの空間や良好な都市景観の形成を図ることができる。	中(2点)	
5	いこいの森改修事業	経常事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	いこいの森施設を安全で快適に利用してもらうため。	大野城いこいの森公園 対象規模は福岡都市圏人口	2,520,000人	通常の維持管理に伴う修繕以外の改修工事等を実施する。	いこいの森が安全・快適に利用できる施設となることで、利用者の増加につながる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	憩いの空間や良好な都市景観の形成を図ることができる。	中(2点)
6	公園施設維持管理事業	経常事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	安全で快適に公園を利用してもらうため。	公園・広場・緑地等	164箇所	清掃・塵芥回収・除草、樹木管理、芝管理、施設の施設管理および安全点検等、維持管理のための工事および修繕を行なう。	安全・快適に公園を利用できる公園となる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	安全で安心して公園を利用することができる。	中(2点)
7	公園灯LED化事業	経常事業	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱	自治事務	その他	維持管理費用の軽減ならびに平準化を図るため。	公園・広場・緑地等	164箇所	公園等に設置している照明灯をLED化するとともにその使用料および賃借料を10年のリース契約とする。	10年のリース契約とすることで維持管理費用が軽減されるとともに平準化が図られる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	維持管理に要していた事務が軽減されるとともに平準化が図られる。	低(1点)

(空白)

別紙2_小施策構成事務事業各概要				小施策名		公園の整備と維持管理							
事業番号	事務事業名	現時点の成果達成状況		小施策の目標を踏まえた現状と課題			小施策の目標達成に向けた今年度以降の事務事業の方向性			優先順位		備考	
		達成度	【現時点ではどのような成果がでているか(左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況)】	診断実施年度：2020 (R2) 過去の施策マネジメント診断結果(各構成事務事業への診断)	現時点の課題【期待される成果をあげるため(小施策の目標達成に貢献するため)に必要なことは何か】	今後の方向性	事業費の方向性	業務量の方向性	事務事業の今後の取組の方向性(コメント)	貢献度+進捗度+方向性	優先順位		
1	公園施設の長寿命化計画による改修事業	未達成(3点)	現在進捗中であり、事業完了後に成果達成となる。なお、更新した遊具は利用者から好評である。	維持	公園施設長寿命化計画における計画的な修繕であり、計画的に実施する。 ※R2は本事業の一部である、街区公園等長寿命化対策事業として診断を実施	完了に向けて引き続き事業を推進する。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	完了に向けて引き続き事業を推進する。	9	1	
2	公園等利用促進事業	未達成(3点)	現在計画の策定中であり、成果達成は策定後に公園を利活用してからとなる。	拡充	市民主体の公園整備や公園管理を行うために行う事業であり、拡充することで、利用しやすい公園とする。	まずは、公園等利活用基本計画を策定する。	見直しの上で継続(3点)	維持	維持	まずは、公園等利活用基本計画を策定する。	9	1	
3	公園整備事務事業	当該年度目標達成(2点)	安全で快適に公園を利用することができる。			引き続き事業を推進する。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	引き続き事業を推進する。	6	7	
4	いこいの森管理運営事業	当該年度目標達成(2点)	いこいの森施設の利用者が増加している。	維持	指定管理者が運営している施設であるが、利用者の増加に向け、指定管理者の創意工夫を引き出す。 ※R2はいこいの森施設維持管理事業として一括して診断を実施	指定管理者と連携して更なる利用者の増加につなげる。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	指定管理者と連携して更なる利用者の増加につなげる。	7	3	
5	いこいの森改修事業	当該年度目標達成(2点)	いこいの森施設の利用者が増加している。	維持	指定管理者が運営している施設であるが、利用者の増加に向け、指定管理者の創意工夫を引き出す。 ※R2はいこいの森施設維持管理事業として一括して診断を実施	指定管理者と連携して更なる利用者の増加につなげる。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	指定管理者と連携して更なる利用者の増加につなげる。	7	3	
6	公園施設維持管理事業	当該年度目標達成(2点)	施設の不備による利用者の事故は発生していない。	見直し	施設が165箇所の点検に多くの業務量を要しており、その関与の在り方を見直し、市の関与を縮小する。 ※R2は公園施設維持管理事業として一括して診断を実施	引き続き事業を推進する。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	引き続き事業を推進する。	7	3	
7	公園灯LED化事業	当該年度目標達成(2点)	維持管理費用の軽減ならびに平準化に繋がっている。	見直し	施設が165箇所の点検に多くの業務量を要しており、その関与の在り方を見直し、市の関与を縮小する。 ※R2は公園施設維持管理事業として一括して診断を実施	引き続き事業を推進する。	現状のまま継続(3点)	維持	維持	引き続き事業を推進する。	6	7	

(空白)

別紙2\_小施策構成事務事業各概要

小施策名

公園の整備と維持管理

事業番号	事務事業名	事業区分	根拠法令・要綱等	事業の性質	市の実施義務	目的【何のためにこの事務事業を実施するのか】	事業概要(目標は総合計画の目標年度)									
							直接対象【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模(人数等)	手段【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果【左記の手段をとることで、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	実施形態【外部委託の状況、補助・助成の状況】	筑紫地区等近隣自治体との比較	本市の水準、順位等	小施策への貢献度【左の成果をあげることにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度	
8	花いっぱい運動事業	経常事業	大野城市のみどりを守り育てる条例	自治事務	その他	緑化活動に対する市民の意識高揚を図るため。	市民	101,134人	春秋の花苗配布、保存樹木等の所有者に対して報償金交付、市の花「キキョウ」配布などを行う。	公共施設等が花や緑でいっぱいになることで景観の向上し、緑化活動に対する市民意識の高揚につながる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	憩いの空間や良好な都市景観の形成を図ることができる。	低(1点)
9	みどりの広場事業	経常事業	大野城市のみどりを守り育てる条例	自治事務	その他	緑化活動に対する市民の意識高揚を図るため。	市民	101,134人	みどりの広場の開催を開催する。	みどりの広場に來場した市民の緑化活動に対する意識高揚につながる。	直営		公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	市民の緑化意識の向上を図ることができる。	低(1点)

(空白)

別紙2_小施策構成事務事業 各概要				小施策名		公園の整備と維持管理							
事業 番号	事務事業名	現時点の成果達成状況		小施策の目標を踏まえた現状と課題			小施策の目標達成に向けた今年度以降の事務事業の方向性			優先順位		備考	
		達成度	【現時点ではどのような成果がでているか(左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況)】	診断実施年度：2020 (R2) 過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	現時点の課題 【期待される成果をあげるため(小施策の目標達成に貢献するため)に必要なことは何か】	今後の方向性	事業費の方向性	業務量の方向性	事務事業の今後の取組の方向性(コメント)	貢献度+進捗度+方向性	優先順位		
8	花いっぱい運動事業	当該年度 目標達成 (2点)	緑化活動に対する市民の意識高揚が図られている。	移管	環境部局へ移管し、自然環境の保全の取り組みと一体として事業を実施する。 ※R2は花いっぱい運動とみどりの広場事業を合わせた緑化推進事業として診断を実施	引き続き事業を推進する。	現状のまま継続 (3点)	維持	維持	引き続き事業を推進する。	6	7	
9	みどりの広場事業	未達成 (3点)	目標は達成していないが、緑化活動に対する市民の意識高揚が図られている傾向がある。	移管	環境部局へ移管し、自然環境の保全の取り組みと一体として事業を実施する。 ※R2は花いっぱい運動とみどりの広場事業を合わせた緑化推進事業として診断を実施	引き続き事業を推進する。	現状のまま継続 (3点)	維持	維持	引き続き事業を推進する。	7	3	

(空白)

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業1	公園施設の長寿命化計画による改修事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	実施計画事業
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園、緑地等管理要綱		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	公園施設施設の安全性確保及び適正な維持管理を行う上で必要。		
目的	耐用年数を超え老朽化した公園施設が急激に増加する中で、安全で快適な利用という機能を確保しながら公園の既存ストックを適正に維持管理するため。		
対象	都市公園・広場(150箇所)、 いこいの森公園		
対象者数	101,134人		
手段(活動)	平成28年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設に必要な改修または更新を行う。		
期待される成果	安全で快適に公園を利用することができる。		
実施形態	直営		
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 事業進捗率(事業費ベース)	千円		30,000	53,110	30,000	30,000	82,500
			7,365	53,109	31,136	12,763	
成果指標 遊具施設の不備による事故件数	件	0	0	0	0	0	0
上記指標に 表れない成 果等			0	0	0	0	

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:R2	事務事業の今後の取組の方向性
公園施設長寿命化計画における計画的な修繕であり、計画的に実施する。 ※R2は本事業の一部である、街区公園等長寿命化対策事業として診断を実施		完了に向けて引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒ ト	業務量(正規)		551時間	600時間
	業務量(会計)		106時間	58時間
	業務量合計		657時間	658時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カ ネ	事業費	30,000千円	30,000千円	82,500千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		30,000	30,000	82,500
特 定 財 源 内 訳	国支出金	8,750	8,750	65,000
	県支出金			
	地方債	7,800	7,800	29,200
	基金以外の特定財源	10,000	10,000	
	(同上名称)	福岡空港環境整備助成事業助成金	福岡空港環境整備助成事業助成金	
	基金	3,450	3,450	3,300
(同上名称)	公共施設整備基金	公共施設整備基金	公共施設整備基金	
一般財源		0	0	0

事業費積算根拠		旧小事業名
令和3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■14節 街区公園等長寿命化対策事業 12,500千円</li> <li>いこいの森長寿命化対策事業 17,500千円</li> </ul>	
令和4年度当初	<ul style="list-style-type: none"> <li>■14節 街区公園等長寿命化対策事業 12,500千円</li> <li>いこいの森長寿命化対策事業 17,500千円</li> </ul>	
令和5年度予算要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>■14節 街区公園等長寿命化対策事業 12,500千円</li> <li>いこいの森長寿命化対策事業 52,500千円</li> <li>■令和4年度からの繰越 : いこいの森長寿命化対策事業 17,500千円</li> </ul>	

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業2	公園等利用促進事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	実施計画事業
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園・緑地等管理要綱		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	公園施設施設の安全性確保及び適正な維持管理を行う上で必要。		
目的	利用者の少ない公園をにぎわいのある公園にするとともに、地域住民の維持管理意識の向上を図る。		
対象	都市公園・広場(149箇所)から抽出		
対象者数	101,134人		
手段(活動)	公園等利活用基本計画を策定し、計画に基づいて公園の利活用ならびに新たな活用、統廃合を実施する。		
期待される成果	にぎわいのある公園を整備するとともに、地元主体の維持管理意識の向上につなげる。		
実施形態	直営		
建築地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	箇所		-	-	2	1	-
成果指標	人	10	-	-	10	10	-
上記指標に表れない成果等			-	-	15	0	-

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:R2	事務事業の今後の取組の方向性
市民主体の公園整備や公園管理を行うために行う事業であり、拡充することで、利用しやすい公園とする。		まずは、公園等利活用基本計画を策定する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒト	業務量(正規)		240時間	611時間
	業務量(会計)		12時間	0時間
	業務量合計		252時間	611時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カネ	事業費	16,918千円	2,500千円	0千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		16,918	0	0
特定財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	16,918	0	0

事業費積算根拠		旧小事業名
令和3年度実績	■12節 公園等利用促進設計委託料	9,757千円
	■14節 公園等利用促進工事費	6,941千円
	■18節 公園等利用促進水道加入金	230千円
令和4年度当初	(予算執行なし)	
令和5年度予算要求	(予算なし)	

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業3	公園整備事務事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業 が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	経常事業
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園、緑地等管理要綱		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	公園施設施設の安全性確保及び適正な維持管理を行う上で必要。		
目的	安全で快適に公園を利用してもらうため。		
対象	公園・広場・緑地等		
対象者数	101,134人		
手段(活動)	研修会等に参加することで、公園の整備と維持管理に必要なスキルを習得する。		
期待される成果	安全で快適に公園を利用することができる。		
実施形態	直営		
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 遊具等の改修、更新	千円		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
			7,365	53,109	30,000	12,736	
成果指標 遊具施設の不備による事故件数	件	0	0	0	0	0	0
			2	1	0	0	
上記指標に 表れない成 果等							

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:	事務事業の今後の取組の方向性
		引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒ ト	業務量(正規)		0時間	0時間
	業務量(会計)		0時間	0時間
	業務量合計		0時間	0時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カ ネ	事業費	116千円	197千円	325千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		116	197	325
特 定 財 源 内 訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	116	197	325

事業費積算根拠		旧小事業名
令 和 3 年 度 実 績	■ 8節 旅費	0千円
	■ 12節 委託料(歩掛改訂)	116千円
	■ 13節 使用料及び賃借料	0千円
令 和 4 年 度 当 初	■ 8節 旅費	15千円
	・ 県内普通旅費	6千円
	・ 研修旅費	9千円
	■ 12節 委託料(歩掛改訂)	150千円
■ 13節 使用料及び賃借料	11千円	
■ 18節 負担金補助及び交付金	21千円(研修参加費)	
・ 遊具点検研修(県内)	21千円	
令 和 5 年 度 予 算 要 求	■ 8節 旅費	163千円
	・ 県内普通旅費	6千円
	・ 研修旅費	157千円
	■ 13節 使用料及び賃借料	11千円
	■ 18節 負担金補助及び交付金	151千円(研修参加費)
	・ 遊具点検研修(県内)	11千円
・ 公園緑地講習会(WEB)	27千円	
・ 公園都市緑化基礎(WEB)	36千円	
・ 公園都市緑化 (建設研修センター・東京)	77千円	

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業4	いこいの森管理運営事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	経常事業
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園、緑地等管理要綱		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	いこいの森の管理運営は令和4年度から5年間の指定管理者である。今後は指定管理者より新たな提案事業等の実施が期待される。		
目的	いこいの森施設を安全で快適に利用してもらうため。		
対象	大野城いこいの森公園 対象規模は福岡都市圏人口		
対象者数	2,520,000人		
手段(活動)	清掃・塵芥回収・除草、樹木管理、芝管理、施設の施設管理および安全点検等、維持管理のための工事および修繕に指定管理者制度を利用する。		
期待される成果	いこいの森が安全・快適に利用できる施設となることで、利用者の増加につながる。		
実施形態	一部委託	いこいの森の管理運営は指定管理者が行っている。	
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	千円		28,259	28,519	28,519	28,160	28,160
成果指標	%	90	85	86	87	88	89
上記指標に表れない成果等			88	86	91	90	

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度: R2	事務事業の今後の取組の方向性
指定管理者が運営している施設であるが、利用者の増加に向け、指定管理者の創意工夫を引き出す。 ※R2はいこいの森施設維持管理事業として一括して診断を実施		指定管理者と連携しながら、更なる利用者の増加を目指して引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒト	業務量(正規)		344時間	856時間
	業務量(会計)		0時間	32時間
	業務量合計		344時間	888時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カネ	事業費	28,668千円	28,312千円	28,330千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		28,668	28,312	28,330
特定財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	28,668	28,312	28,330

事業費積算根拠		旧小事業名
令和3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■11節 建物損害共済保険料 150千円</li> <li>■18節 指定管理者交付金 28,518千円</li> </ul>	
令和4年度当初	<ul style="list-style-type: none"> <li>■11節 建物損害共済保険料 152千円</li> <li>■18節 指定管理者交付金 28,160千円</li> </ul>	
令和5年度予算要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>■11節 建物損害共済保険料 170千円</li> <li>■18節 指定管理者交付金 28,160千円</li> </ul>	

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業5	いこいの森改修事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	經常事業
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園、緑地等管理要綱		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	いこいの森の管理運営は令和4年度から5年間の指定管理者である。今後は指定管理者より新たな提案事業等の実施が期待される。		
目的	いこいの森施設を安全で快適に利用してもらうため。		
対象	大野城いこいの森公園 対象規模は福岡都市圏人口		
対象者数	2,520,000人		
手段(活動)	通常の維持管理に伴う修繕以外の改修工事等を実施する。		
期待される成果	いこいの森が安全・快適に利用できる施設となることで、利用者の増加につながる。		
実施形態	直営		
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 施設の適切な管理	千円		3,250	3,250	3,250	3,250	3,250
成果指標 利用者のサービス満足度	%	89	85	86	87	88	89
上記指標に表れない成果等			88	86	91	90	

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:R2	事務事業の今後の取組の方向性
指定管理者が運営している施設であるが、利用者の増加に向け、指定管理者の創意工夫を引き出す。 ※R2はいこいの森施設維持管理事業として一括して診断を実施		指定管理者と連携しながら、更なる利用者の増加を目指して引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒト	業務量(正規)		45時間	84時間
	業務量(会計)		0時間	0時間
	業務量合計		45時間	84時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カネ	事業費	2,530千円	3,250千円	3,250千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		2,530	3,250	3,250
特定財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	2,530	3,250	3,250

事業費積算根拠		旧小事業名
令和3年度実績	■14節 いこいの森改修工事費	2,530千円
	・中央公園ポンプ改修	1,337千円
	・キャンプ場施設改修	1,193千円
令和4年度当初	■10節 備品部品修繕料	250千円
	・AEDバッテリー・パッド交換	80千円
	・キャンプ場備品修繕	170千円
	■14節 いこいの森改修工事費	3,000千円
	・中央公園法面改修	2,230千円
	・キャンプ場施設改修	770千円
令和5年度予算要求	■10節 備品部品修繕料	250千円
	・AEDバッテリー・パッド交換	80千円
	・キャンプ場備品修繕	170千円
	■14節 いこいの森改修工事費	3,000千円
	・中央公園法面改修	2,190千円
	・キャンプ場施設改修	810千円

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理			
事務事業名(R5小事業名)	事業6	公園施設維持管理事業		
旧小事業名(R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4	
	2		5	
	3		6	
所管部署	公園街路課	事業区分	経常事業	
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園、緑地等管理要綱			
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他	
事業の方向性	②現状で継続する			
上記方向性とした理由	公園の維持管理は、安全で快適に利用できる公園づくりの根幹であるため。			
目的	安全で快適に公園を利用してもらうため。			
対象	公園・広場・緑地等			
対象者数	164箇所			
手段(活動)	清掃・塵芥回収・除草、樹木管理、芝管理、施設の施設管理および安全点検等、維持管理のための工事および修繕を行なう。			
期待される成果	安全・快適に公園を利用できる公園となる。			
実施形態	直営			
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。			同程度

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	全ての公園パトロール	回	3	3	3	3	3
成果指標	遊具施設不備による利用者の事故ゼロ	件	0	0	0	0	0
上記指標に 表れない成 果等							

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度: R2	事務事業の今後の取組の方向性
施設が165箇所の点検に多くの業務量を要しており、その関与の在り方を見直し、市の関与を縮小する。 ※R2は公園施設維持管理事業として一括で診断を実施		引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒト	業務量(正規)		1,112時間	1,666時間
	業務量(会計)		2,019時間	2,337時間
	業務量合計		3,131時間	4,003時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カネ	事業費	123,423千円	123,295千円	126,205千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		123,423	123,295	126,205
特定財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	123,423	123,295	126,205

## 事業費積算根拠 旧小事業名

令和3 年度 実績	■11節 報酬	1,434千円	■2節 給料	2,399千円
	■3節 職員手当等	1,058千円	■8節 旅費(通勤費)	3千円
	■10節 需用費	19,090千円		
	・消耗品費、庁用車燃料費	198千円		
	・公園灯電気料	4,553千円		
	・上下水道使用料	1,893千円		
・備品部品・公園施設等修繕料	12,446千円			
■11節 役務費	142千円	(不燃物処理料、保険料等)		
■12節 委託料	82,397千円			
・公園清掃等管理業務委託料	25,000千円			
・その他維持管理委託料	55,190千円	(樹木管理、施設管理、池管理)		
・遊具等点検委託料等	2,206千円			
■13節 使用料及び賃借料	557千円	■14節 工事請負費(維持補修工事)	16,264千円	
■17節 備品購入費	12千円	■18節 負担金(UR電気代)	44千円	
■26節 公課費(車両重量税)	23千円			
令和4 年度 当初	■11節 報酬	3,430千円	■2節 給料	2,399千円
	■3節 職員手当等	1,349千円	■8節 旅費(通勤費)	126千円
	■10節 需用費	16,839千円		
	・消耗品費、庁用車燃料費	227千円		
	・公園灯電気料	4,800千円		
	・上下水道使用料	1,900千円		
・備品部品・公園施設等修繕料	9,912千円			
■11節 役務費	235千円	(不燃物処理料、保険料等)		
■12節 委託料	82,408千円			
・公園清掃等管理業務委託料	25,000千円			
・その他維持管理委託料	54,000千円	(樹木管理、施設管理、池管理)		
・遊具等点検委託料等	3,408千円			
■13節 使用料及び賃借料	863千円	■14節 工事請負費(維持補修工事)	15,540千円	
■17節 備品購入費	23千円	■18節 負担金(UR電気代)	60千円	
■26節 公課費(車両重量税)	23千円			
令和5 年度 予算 要求	■11節 報酬	3,510千円	■2節 給料	2,435千円
	■3節 職員手当等	1,459千円	■8節 旅費(通勤費)	126千円
	■10節 需用費	17,814千円		
	・消耗品費、庁用車燃料費	227千円		
	・公園灯電気料	5,700千円		
	・上下水道使用料	1,975千円		
・備品部品・公園施設等修繕料	9,912千円			
■11節 役務費	257千円	(不燃物処理料、保険料等)		
■12節 委託料	84,033千円			
・公園清掃等管理業務委託料	25,558千円			
・その他維持管理委託料	54,638千円	(樹木管理、施設管理、池管理)		
・遊具等点検委託料等	3,837千円			
■13節 使用料及び賃借料	853千円	■14節 工事請負費(維持補修工事)	15,540千円	
■17節 備品購入費	83千円	■18節 負担金(UR電気代)	62千円	
■22節 還付金	10千円	■26節 公課費(車両重量税)	23千円	

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業7	公園灯LED化事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業 が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	経常事業
根拠法令・要綱等	都市公園法、都市公園法施行規則、大野城市都市公園条例、大野城市都市公園条例施行規則、大野城市公園、緑地等管理要綱		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	公園の維持管理は、安全で快適に利用できる公園づくりの根幹であるため。		
目的	維持管理費用の軽減ならびに平準化を図るため。		
対象	公園・広場・緑地等		
対象者数	164箇所		
手段(活動)	公園等に設置している照明灯をLED化するとともにその使用料および賃借料を10年のリース契約とする。		
期待される成果	10年のリース契約とすることで維持管理費用が軽減されるとともに平準化が図られる。		
実施形態	直営		
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	全ての公園パトロール	回	3	3	3	3	3
成果指標	遊具施設不備による利用者の事故ゼロ	件	0	0	0	0	0
上記指標に 表れない成 果等							

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:R2	事務事業の今後の取組の方向性
施設が165箇所の点検に多くの業務量を要しており、その関与の在り方を見直し、市の関与を縮小する。 ※R2は公園施設維持管理事業として一括で診断を実施		引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒ ト	業務量(正規)		0時間	0時間
	業務量(会計)		0時間	0時間
	業務量合計		0時間	0時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カ ネ	事業費	3,524千円	3,524千円	3,524千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		3,524	3,524	3,524
特 定 財 源 内 訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	3,524	3,524	3,524

事業費積算根拠		旧小事業名
令和3 年度 実績	■13節 使用料及び賃借料(LED照明機器) リース契約(令和10年まで)	3,524千円
令和4 年度 当初	■13節 使用料及び賃借料(LED照明機器) リース契約(令和10年まで)	3,524千円
令和5 年度 予算 要求	■13節 使用料及び賃借料(LED照明機器) リース契約(令和10年まで)	3,524千円

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理		
事務事業名 (R5小事業名)	事業8	花いっぱい運動事業	
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業が含まれる場合のみ記載	1		4
	2		5
	3		6
所管部署	公園街路課	事業区分	経常事業
根拠法令・要綱等	大野城市のみどりを守り育てる条例		
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他
事業の方向性	②現状で継続する		
上記方向性とした理由	春と秋の花いっぱい運動は広く市民に浸透しており、緑化活動における市民意識の高揚に必要である。		
目的	緑化活動に対する市民の意識高揚を図るため。		
対象	市民		
対象者数	101,134人		
手段(活動)	春秋季の花苗配布、保存樹木等の所有者に対して報償金交付、市の花「キキョウ」配布などを行う。		
期待される成果	公共施設等が花や緑でいっぱいになることで景観の向上し、緑化活動に対する市民意識の高揚につながる。		
実施形態	直営		
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度	

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 緑化ワークショップの開催	回			3	3	3	3
成果指標				3	3	3	※保育園3園
上記指標に表れない成果等	緑化活動に対する市民意識の高揚。						

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:R2	事務事業の今後の取組の方向性
環境部局へ移管し、自然環境の保全の取り組みと一体として事業を実施する。 ※R2は花いっぱい運動とみどりの広場事業を合わせた緑化推進事業として診断を実施		花いっぱい運動を通じ、市民の意識高揚を図るために引き続き事業を推進する。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

1次査定 結果		2次査定 結果	
事業の方向性		事業の方向性	
査定結果		査定結果	

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒト	業務量(正規)		62時間	89時間
	業務量(会計)		335時間	572時間
	業務量合計		397時間	661時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カネ	事業費	4,932千円	4,950千円	4,935千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		4,932	4,950	4,935
特定財源内訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	4,932	4,950	4,935

事業費積算根拠		旧小事業名	
令和3年度実績	■ 7節 報償費	132千円	(保存樹木報奨金)
	・ 保存樹木 3千円×30件=90千円 ・ 保存樹林 6千円×7件=42千円		
	■ 10節 需用費	4,800千円	(花いっぱい運動)
令和4年度当初	■ 7節 報償費	150千円	(保存樹木報奨金)
	・ 保存樹木 3千円×34件=102千円 ・ 保存樹林 6千円×8件=48千円		
	■ 10節 需用費	4,800千円	(花いっぱい運動)
	・ 公民館、コミセン等花苗肥料配布 4,460千円 ・ 庁舎、保育所等花苗肥料及び消耗品購入 340千円		
令和5年度予算要求	■ 7節 報償費	135千円	(保存樹木報奨金)
	・ 保存樹木 3千円×31件=93千円 ・ 保存樹林 6千円×7件=42千円		
	■ 10節 需用費	4,800千円	(花いっぱい運動)
	・ 公民館、コミセン等花苗肥料配布 4,460千円 ・ 庁舎、保育所等花苗肥料及び消耗品購入 340千円		

# 事務事業査定シート

## 1. 事業概要

小施策名	公園の整備と維持管理			
事務事業名 (R5小事業名)	事業9	みどりの広場事業		
旧小事業名 (R4の小事業名) ※事務事業の中に複数の小事業 が含まれる場合のみ記載	1		4	
	2		5	
	3		6	
所管部署	公園街路課	事業区分	経常事業	
根拠法令・要綱等	大野城市のみどりを守り育てる条例			
事業の性質	自治事務	市の実施義務	その他	
事業の方向性	②現状で継続する			
上記方向性とした理由	みどりの広場は広く市民に浸透しており、緑化活動における市民意識の高揚に必要である。			
目的	緑化活動に対する市民の意識高揚を図るため。			
対象	市民			
対象者数	101,134人			
手段(活動)	みどりの広場の開催を開催する。			
期待される成果	みどりの広場に来場した市民の緑化活動に対する意識高揚につながる。			
実施形態	直営			
筑紫地区等 近隣自治体との比較	公園緑化事業は近隣自治体も本市と同様に実施している。	同程度		

## 4. 成果の状況(アウトプット、アウトカム) ※活動指標・成果指標はそれぞれ一つ以上記載

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標	みどりの広場の開催	回		1	1	1	1	1
成果指標	みどりの広場の利用者満足度	%	90	90	90	90	90	90
上記指標に 表れない成 果等	令和2年度、3年度のみどりの広場は中止。							

## 5. 過去の診断結果と事務事業の今後の方向性

過去の施策マネジメント診断結果 (各構成事務事業への診断)	診断実施年度:R2	事務事業の今後の取組の方向性
環境部局へ移管し、自然環境の保全の取り組みと一体として事業を実施する。 ※R2は花いっぱい運動とみどりの広場事業を合わせた緑化推進事業として診断を実施		みどりの広場等を開催し、緑化推進事業を進める。

## 6. 査定結果 ※事務局使用欄のため入力不要

	1次査定 結果	2次査定 結果
事業の方向性		
査定結果		

## 2. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
ヒ ト	業務量(正規)		397時間	437時間
	業務量(会計)		47時間	62時間
	業務量合計		444時間	499時間
		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
カ ネ	事業費	0千円	2,600千円	2,600千円

## 3. 財源内訳と事業費積算根拠

(単位:千円)

財源内訳		令和3年度実績	令和4年度当初	令和5年度予算要求
事業費		0	2,600	2,600
特 定 財 源 内 訳	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	基金以外の特定財源 (同上名称)			
	基金 (同上名称)			
	一般財源	0	2,600	2,600

事業費積算根拠		旧小事業名
令和3年度実績	■ 18節 負担金補助及び交付金	0千円
令和4年度当初	■ 18節 負担金補助及び交付金	2,600千円
	・委託費	2,100千円
	・構成団体イベント費	500千円
令和5年度予算要求	■ 18節 負担金補助及び交付金	2,600千円
	・委託費	2,100千円
	・構成団体イベント費	500千円